



社聞新日朝阪大・援後



ステープルファイバー展覧会開催に就て

科学の生んだ新時代の織維、ステープルファイバーの名は對添國税問題を究極として我經濟界、工業界へ王者の如く君臨し來ました。棉花に、羊毛に、紡績原料の殆んど全部を海外に仰がねばならぬ我國に於ては、ステープルファイバーの出現こそ、衣料國策樹立の上に来來の福音たるを得ないのであります。

今や、當國に於ても製造機關に於ても、視野をあげて、此問題が研究究議せられ、兩三年前まではおしの研究時代にあつた、我人織界が先進國、伊太利、獨逸を凌駕して世界第一位ならん事、日誌の近きに迫つて居ります。

此秋に當り小店は大阪朝日新聞社後援の下に、陸軍省、日東紡績株式會社、吉田忠雄店を始め關係諸社に賛助出品を得て茲に我國空前の大ステープルファイバー展覧會を開催し、以て其の盛況より現狀に及び更に將來への示唆をばあらゆる角度より極めて平易に、大衆的に紹介展覧せんとするものであります。

大方の諸君、然つて御來觀あらむ事を希します。

昭和十一年十月

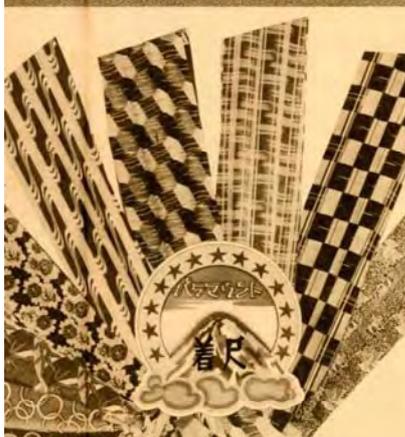
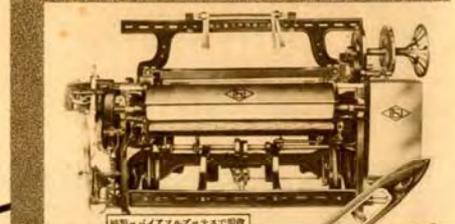
大前日本橋 松坂屋

ステープルファイバー



歐洲一大ウアツシヨ國の獨宰者もステープルファイバー製品の使用を勸告です

右イタリ、普國首相ムワリニ
 左ナチス獨乙總統ヒツトラー



着トノウマラパ

機織働自式本阪

- 物産毛・布類・布類一パイアルプアス— 途用の機本
- 寸法に織製の内何種平り上層厚等布類
- 産産機収・全出作工・半際産機・新産機織— 色特の機本
- 高層の布織製

社合式株機織州遠

廠経村美可外市松阪 社本
 番七九六二・八・五一— 四九— 一話電
 目丁三邊南瀬戸区區西市院大 所産出
 番六七五六・五七五六 製機士話電

